

葉山町国民健康保険
第3期データヘルス計画
第4期特定健康診査等実施計画
(令和6年度～令和11年度)

【概要版】



葉山町

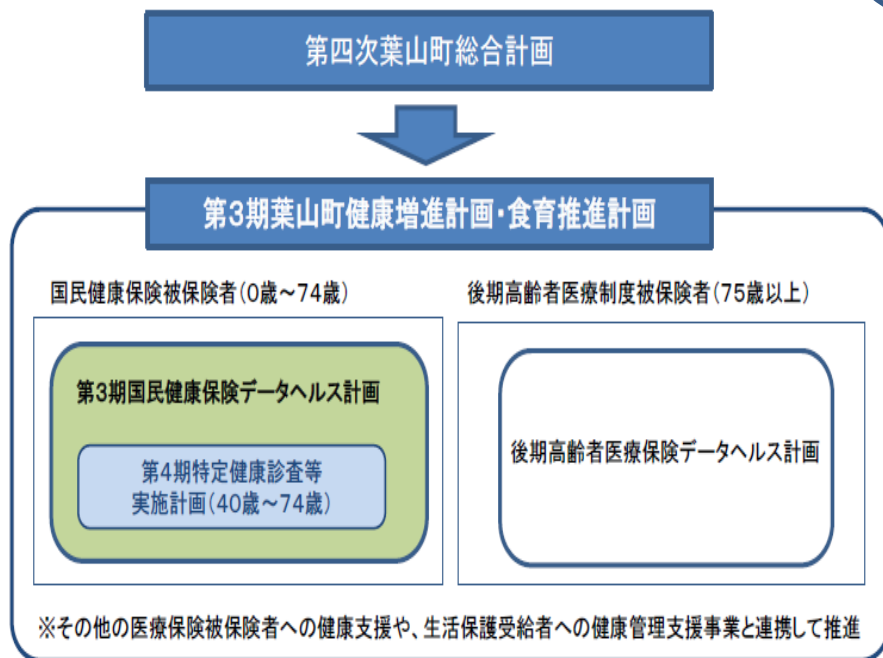
計画策定の概要

1 計画の目的

第3期葉山町特定健康診査等実施計画と第2期データヘルス計画の計画期間が満了となることから、両計画の評価を実施し、「第4期葉山町特定健康診査等実施計画」を「第3期葉山町国民健康保険データヘルス計画」の一部として位置づけ、一体的に策定することとしました。特定健診や特定保健指導の実施をはじめとした健康課題の把握や、本町の特性に合わせた効果的な保健事業の実施に努めていき、町民の健康の保持増進を図ることを目的に、本計画を策定します。

2 計画の位置づけ

各種関係計画と連動した事業の実施に努め、町民の健康レベルの向上・改善を図ります。



国民健康保険のデータを使っている計画だけど町全体の傾向を知る参考にもなるんだよ



町民みんなの健康づくりに取り組みます

3 計画の期間

データヘルス計画は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施に関する指針」第5条第5項において、「特定健康診査等実施計画や健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされています。また「特定健診等実施計画」は「高齢者の医療の確保に関する法律」第18条第1項で、厚生労働大臣が定める「特定健康診査等基本指針」に基づいて6年を1期としていることから、本計画の計画期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

計画で取り組む保健事業

- 1 特定健診受診率向上事業
- 2 特定保健指導利用率向上事業
- 3 生活習慣病・重症化予防事業
- 4 健康づくり推進事業
- 5 医療費適正化推進事業

健康増進事業や、各種
健診・検診とも連動して、
大きく5つの事業に
取り組むよ



第3期国保データヘルス計画

第4期特定健康診査等実施計画

- 1 特定健診受診率向上事業
 - 特定健診受診勧奨
 - 特定健診未受診者受診勧奨
 - 若い世代の受診率向上事業

わかりやすい
健診結果通知

- 2 特定保健指導利用率向上事業
 - 特定保健指導利用勧奨事業
 - 特定保健指導未利用者利用勧奨事業
 - 利用しやすい環境づくり事業

- 3 生活習慣病・重症化予防事業
 - 受療勧奨事業（高血圧・糖尿病）
 - 重症化予防事業
 - 口腔ケア推進事業

- 4 健康づくり推進事業
 - 健康増進施設利用助成事業
 - ウォーキング習慣促進事業
 - 地域包括ケア連携推進事業

その他 各種保健事業・栄養教室等

- 5 医療費適正化推進事業
 - 重複投与適正化事業
 - 多剤投与適正化事業
 - 後発医薬品推進事業

後期高齢者健康診査事業
後期高齢者保健事業
介護予防との一体的事業

- がん検診等と連携した事業の実施
- 実施会場、実施方法
申込み方法等の改善と
体制強化

国保以外の人も対象とした
保健事業
(健康増進事業等)

がん検診等事業

がん検診

肺がん検診
大腸がん検診
胃がん検診
胃がんリスク検診
前立腺がん検診
子宮がん検診
乳がん検診

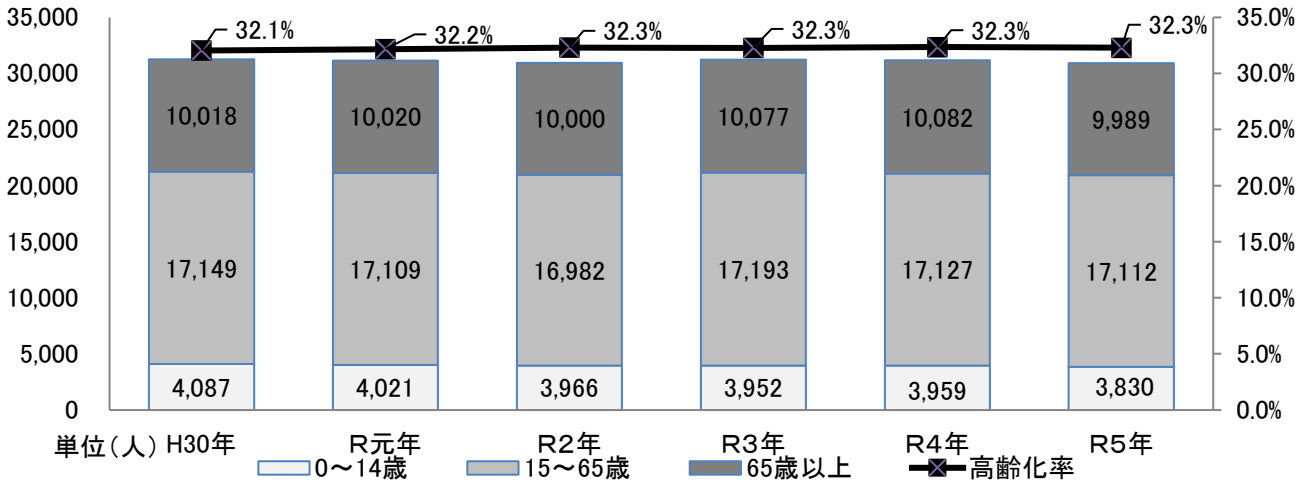
その他検診

骨粗しょう症検診
歯周病検診

葉山町の現状

1 人口および高齢化率

総人口は横ばいですが、高齢化率は年々上昇しており全国に比べても高い状況です。
生産年齢人口(15～64歳)は横ばい状態で大きな変化はありませんが、全国平均と比較すると低い状況です。



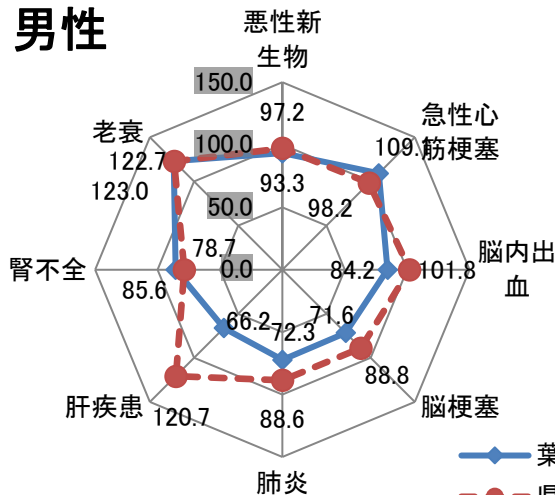
	総人口	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
全国	124,752千人	14,433千人 (11.6%)	74,146千人 (59.4%)	36,173千人 (29.0%)
神奈川県	9,227,901人	1,047,478人 (11.6%)	5,640,059人 (62.6%)	2,326,294人 (25.8%)
葉山町	31,414人	3,830人 (12.4%)	17,112人 (55.3%)	9,989人 (32.3%)

(神奈川県年齢別人口統計調査・総務省統計局人口推計月報 令和5年1月現在より)

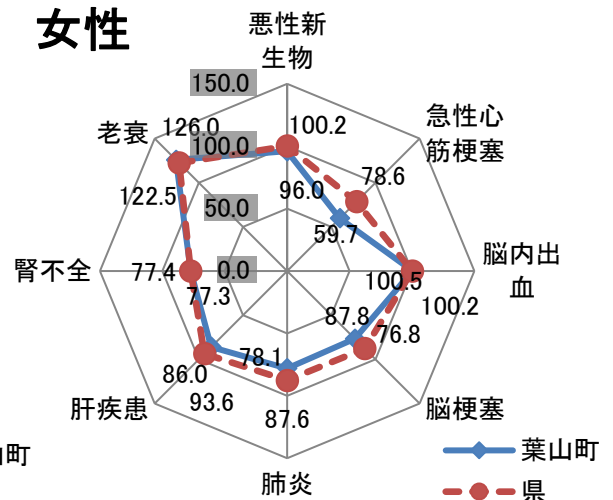
2 死因

疾病別標準化死亡比で比較すると、男女ともに「老衰」が全国に比べて高くなっています。男性では「急性心筋梗塞」が県と比較して高い状況ですが、全国平均に比べると低くなっています。女性は県や全国平均と比べて、概ねどの疾患も低い状況です。

男性



女性



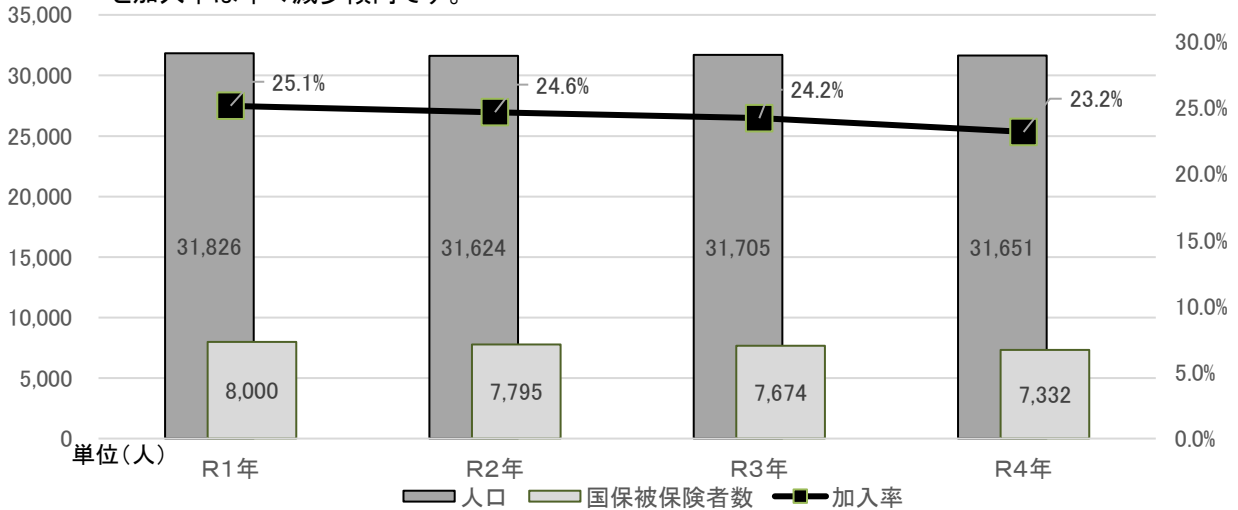
(人口動態保健所・市町村別統計 平成25年～29年 令和2年7月公表より)

葉山町の国民健康保険の状況

1

葉山町の総人口と国保加入者数および加入率

国保対象年齢以上の人(75歳以上の後期高齢者)が増加していることもあり、国保被保険者数と加入率は年々減少傾向です。



(厚生労働省「国保実態調査報告」各年度より・神奈川県年齢別人口統計調査より)

2

葉山町の国保被保険者の年代別加入率

葉山町の国保被保険者の加入率を年代別に見ると、年代があがるほど国保加入率が高くなっています。65～69歳では60.3%、70～74歳では74.0%の加入率となっています。

	国保被保険者(人)	人口(人)	加入率(%)		国保被保険者(人)	人口(人)	加入率(%)
0～4歳	116	893	13.0	40～44歳	431	2,064	20.9
5～9歳	224	1,435	15.6	45～49歳	572	2,778	20.6
10～14歳	243	1,631	14.9	50～54歳	646	2,826	22.9
15～19歳	245	1,480	16.6	55～59歳	535	2,261	23.7
20～24歳	207	1,139	18.2	60～64歳	616	1,734	35.5
25～29歳	135	704	19.2	65～69歳	1,063	1,764	60.3
30～34歳	150	779	19.3	70～74歳	1,840	2,486	74.0
35～39歳	309	1,362	22.7	計	7,332	25,752	

(厚生労働省「国保実態調査報告」および統計はやま令和4年度より)

3

葉山町の国保被保険者の介護保険の状況

被保険者の介護保険認定者の1件あたりの給付費は52,904円と、全国平均、県平均より低くなっています。

	葉山町	神奈川県	全国
介護認定率(%)	19.1	19.1	19.4
1件当たり給付費(円)	52,904	54,139	59,662
1件当たり居宅給付費(円)	37,817	39,383	41,272
1件当たり施設給付費(円)	284,978	299,527	296,364

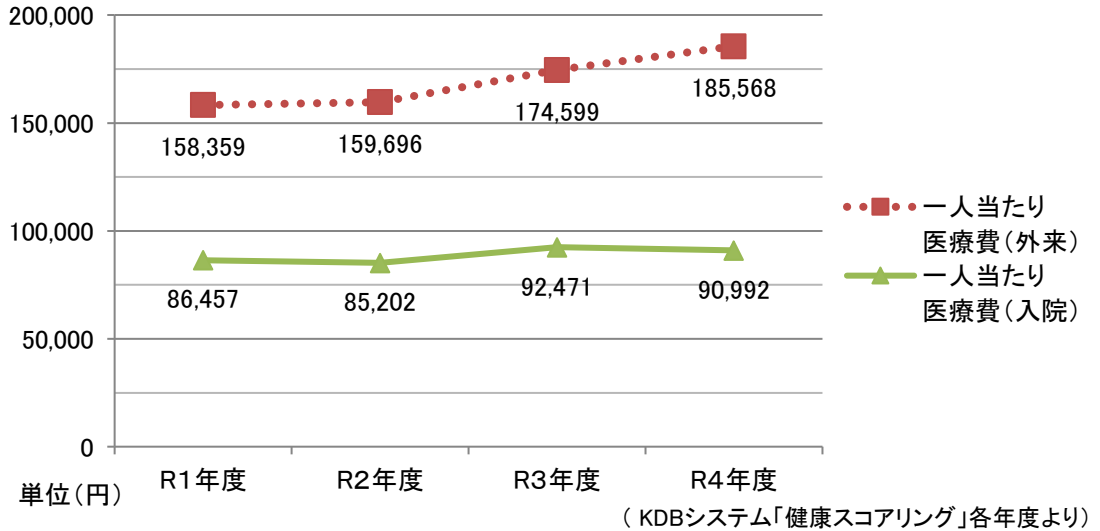
(KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」令和4年度より)

葉山町の国保医療費の状況

1

葉山町の国保被保険者一人当たり年間医療費(医科・調剤)

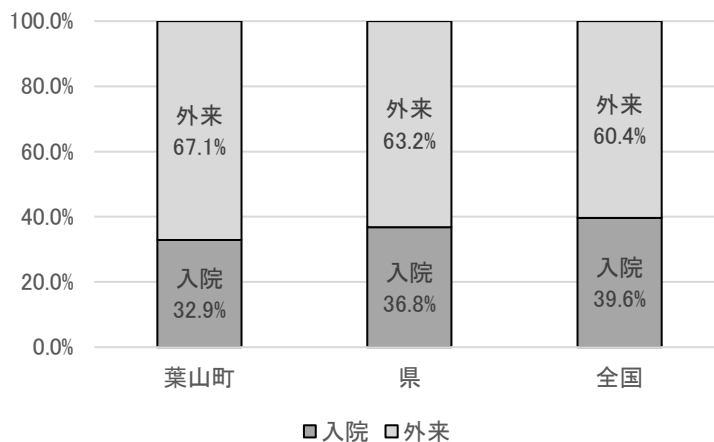
一人当たり年間医療費(医科・調剤)を見ると、入院医療費、外来医療費とも増加しています。特に外来医療費の増加幅が大きいです。



2

葉山町の医療費(医科・調剤)構成比

医療費構成比では「外来」にかかる医療費の割合が国・県に比べて多く、「入院」にかかる医療費の割合が少なくなっています。



外来医療費が高くて、入院医療費が少ないのは、悪くしないうちに受診できている人が多いのかもね



(KDBシステム 疾病別医療費分類大分類 令和4年度より)

3

葉山町の国保歯科医療費の状況

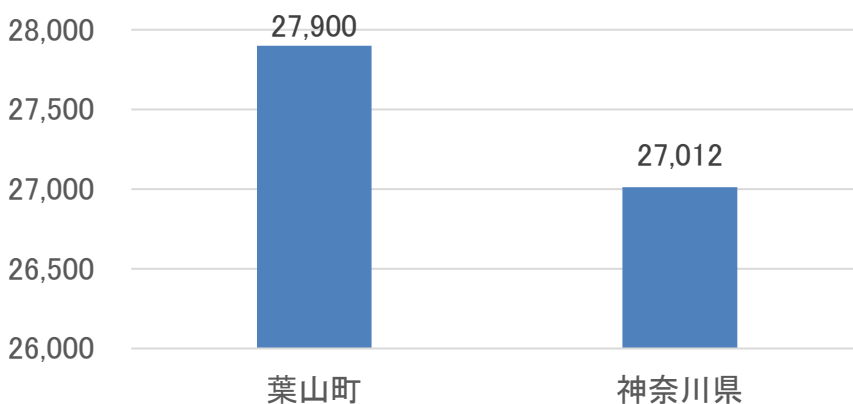
年間歯科医療費総額(令和4年度)を見ると、約2億円(※)となっています。
また、被保険者一人当たりの年間平均歯科医療費を見ると27,900円となっており、県平均と比べて葉山町は高くなっています。(※歯科医療費は医科・調剤医療費とは別枠での集計となっています。)

歯科	葉山町	神奈川県
歯科総医療費	207,795,770	46,498,516,040
1人当たり医療費(※)	27,900	27,012
1件当たり医療費	13,507	13,691
1日当たり医療費	8,176	8,275
1件当たり受診回数(回)	1.65	1.65

※一人当たり医療費のみ、「市区町村別データ」(月平均)を年間額に算定しなおして計上している



1件あたりの歯科医療費は少ないから
歯を大切にして受診できている人が多い
可能性もあるね。口腔ケアでの予防は大切ね



単位(円)

(KDBシステム「市区町村別データ」 令和4年度より)

町の歯周病検診の受診者が増えるよう、「お口の健康展」などでも、若い頃からの受診と口腔ケアを呼びかけていくね



4 葉山町の疾病別医療費の割合

疾病中分類別で年間医療費(医科・調剤、入院・外来の合計)を見ると、「腎不全」「心疾患」「悪性新生物」「高血圧」「糖尿病」などに医療費が多くかかっています。

【疾病中分類 年間「入院医療費」の状況】

【疾病中分類 年間「外来医療費」の状況】

中分類別疾患	入院医療費に占める割合
1 その他の心疾患	8.9%
2 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	7.6%
3 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	5.8%
4 骨折	4.8%
5 その他の消化器系の疾患	4.3%
6 てんかん	4.2%
7 虚血性心疾患	3.2%
8 良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	3.0%
9 脳梗塞	3.0%
10 関節症	3.0%
上記以外の疾病の合計	52.3%
疾病中分類別入院医療費	100.00%

中分類別疾患	外来医療費に占める割合
1 腎不全	8.5%
2 その他の悪性新生物＜腫瘍＞	6.5%
3 糖尿病	6.1%
4 その他の消化器系の疾患	4.5%
5 高血圧性疾患	3.8%
6 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	3.5%
7 脂質異常症	3.3%
8 その他の眼及び付属器の疾患	3.2%
9 その他の心疾患	2.8%
10 炎症性多発性関節障害	2.7%
上記以外の疾病の合計	55.1%
疾病中分類別外来医療費合計	100%

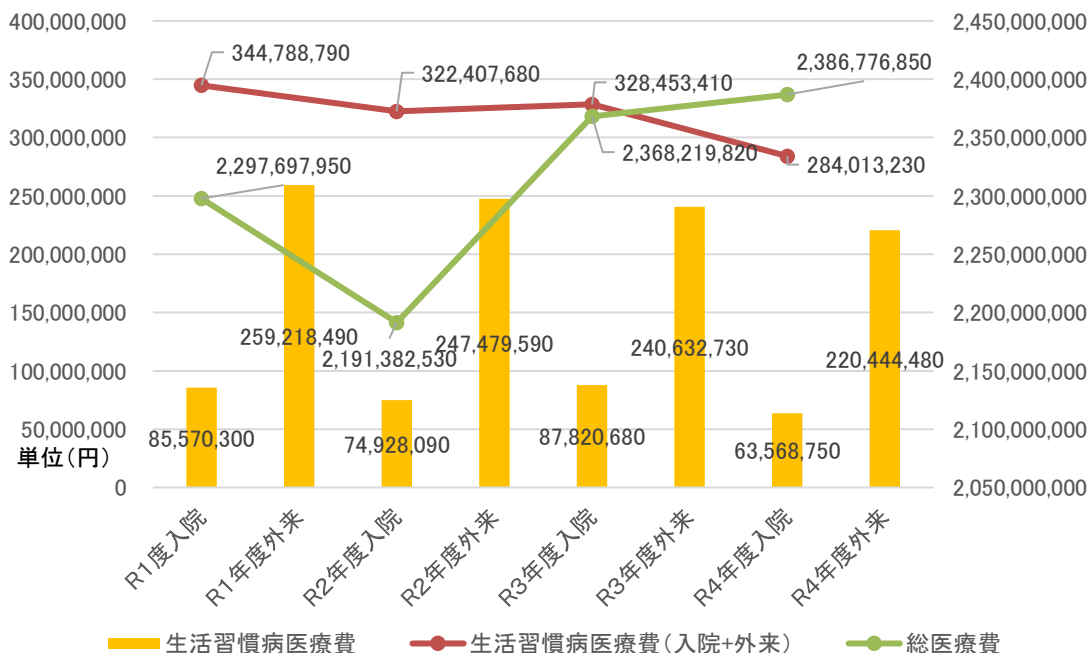
(KDBシステム 疾病別医療費分析中分類 令和4年度より)

医療費上位の病気は、ほとんどが「生活習慣」に関係する病気だよ。食事や運動など生活習慣に気をつけてもらよう。



5 葉山町の医療費総額に占める生活習慣病にかかる医療費の割合

葉山町の生活習慣病にかかる医療費割合は、年々減少傾向です。



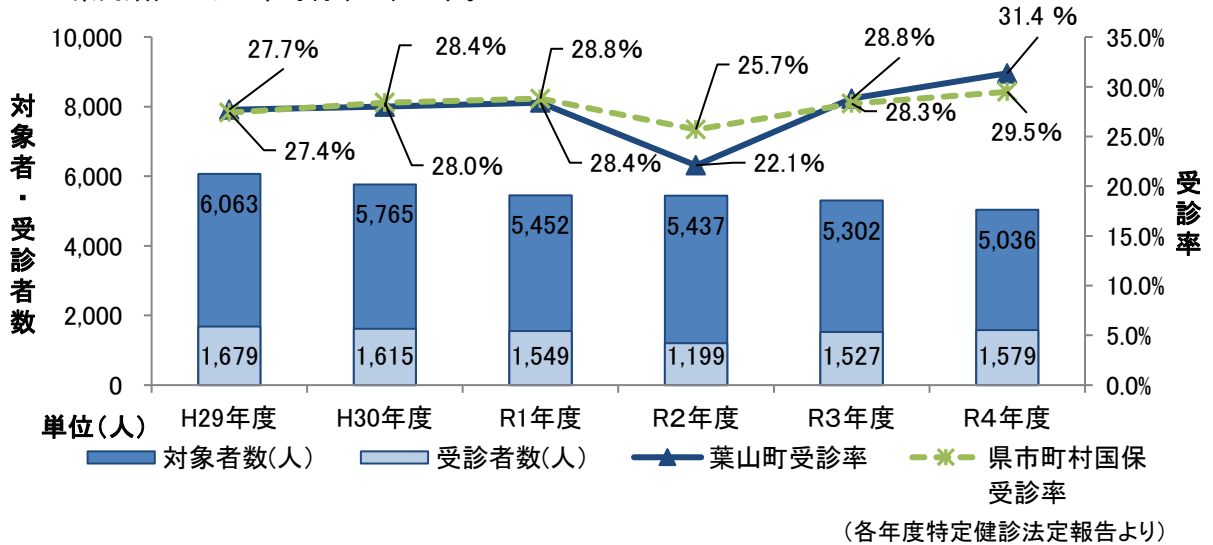
(KDBシステム「市区町村別データ・疾病別医療費分析 生活習慣病」各年度より)

葉山町の特定健診・特定保健指導の状況

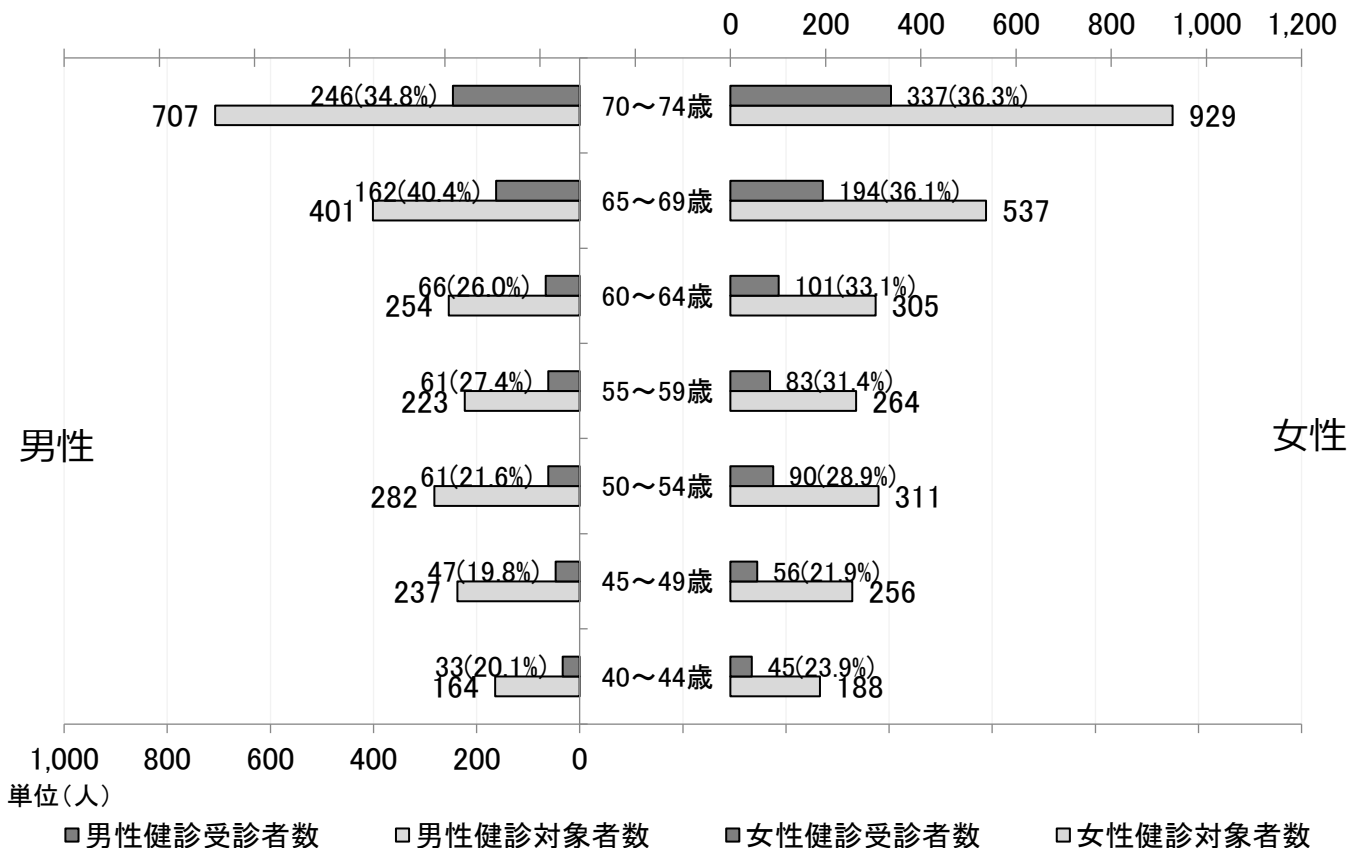
1 葉山町の特定健診の状況

特定健診受診率(法定報告値)を見ると、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により前年度から6.3ポイント低下していますが、全体的には年々微増しています。

令和4年度受診率は31.4%で、神奈川県内市町村国保の受診率平均(29.5%)より高くなっていますが、県内順位では33市町村中28位です。

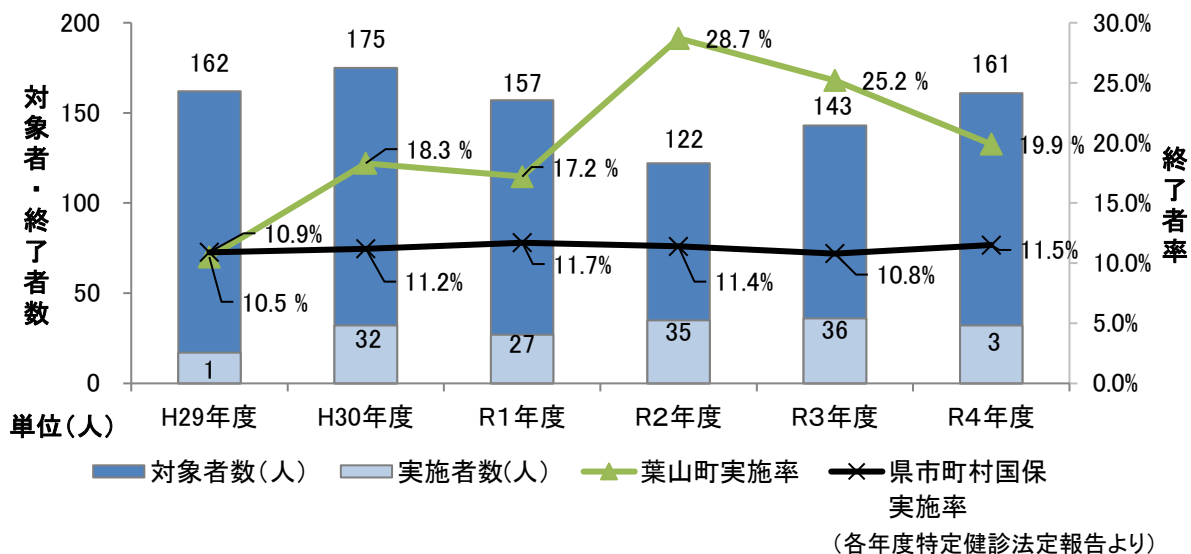


葉山町年代別男女別特定健診受診状況

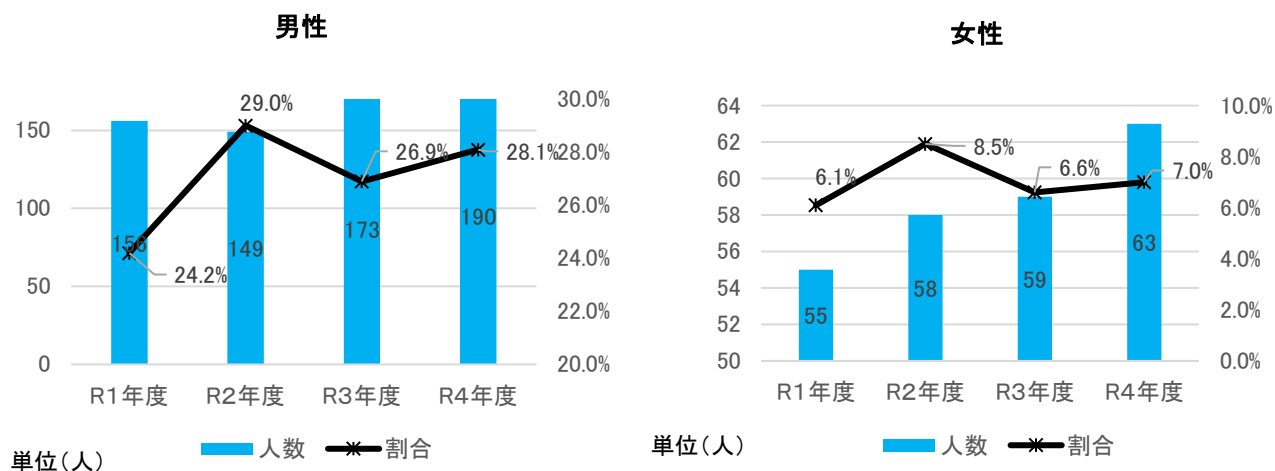


特定保健指導の終了率を見ると、年によってばらつきがありますが、令和4年度は19.9%と神奈川県内市町村国保の実施率平均(11.5%)より上回っており、県内順位では33市町村中13位となっています。

葉山町特定保健指導の実施状況の推移



メタボリックシンドローム該当者数と割合



(KDBシステム 厚生労働省様式5-3 メタボリックシンドローム該当者・予備群 各年度より)



メタボ該当者は男性の方が女性より4倍多く、男性の4人に1人以上がメタボだよ

生活習慣病の悪化防止のためにも、メタボの人を増やさないようにしないとね



健康課題	健康課題への対策
【特定健康診査受診率】 ・受診率は経年で見ると微増している。 ・令和4年度受診率は31.4%と神奈川県内市町村国保の受診率平均(29.5%)より高いが、県内順位では33市町村中28位である。 ・男女共に65歳以上になると受診率が35%を超えるが、男女別では男性の受診率が低く、特に若い世代では20%台とより低いことが課題である。	・健診受診により、自身の健康状態を把握することができるよう、特定健診の受診を促すことが必要である。 ・特定保健指導の利用により生活習慣が改善できるよう、特定保健指導の利用を促すことが必要である。 ・若い世代の受診率が低いことから、若い世代が受診しやすい環境づくりが必要である。
【特定保健指導の終了率】 ・終了率は経年で見ると横ばいである。 ・令和4年度終了率は19.9%と神奈川県内市町村国保の実施率平均(11.5%)より高く、県内順位では33市町村中13位である。 ・全体に利用率、終了率が低いことが課題である。	
【高額医療費の状況】 令和4年度の総レセプト件数(医科・調剤)63,255件中、1件50万円以上の高額レセプトは年間845件と全体の1.3%だが、総医療費総額(医科・調剤)の38.5%を占め、各種疾病を重症化させないことが課題である。	・特に医療費のかかっている腎不全予防のため、糖尿病の重症化予防に取り組むことが必要である。 ・外来医療費が多くかかっている高血圧は、重症化すると重大疾患につながるリスクが高いため、予防と重症化予防に取り組むことが必要である。 ・歯周病検診などで、口腔ケア推進を図ることは、全身の健康管理と予防につながることから、口腔ケア推進が必要である。
【生活習慣病にかかる医療費の状況】 葉山町の総医療費(医科・調剤)はやや増加傾向だが生活習慣病医療費は減少傾向のため、今後も継続して増えないようにしていくことが課題である。	
【生活習慣病保有者の割合】 生活習慣病保有者の割合は33.0%(令和4年度)であり、県平均と比べて低いため、継続して増えないようにしていくことが課題である。	
【人口透析の状況】 「腎不全」には年間約1億4千万円以上の医療費(令和4年度)がかかっており、医療費総額の6.4%を占めている。要因の一つとして人工透析に係る医療費が高いことがあるため、透析新規導入者を増やさないことが課題である。	
【歯科医療費の状況】 令和4年度の年間歯科医療費総額を見ると約2億円、被保険者一人当たりの年間歯科医療費は27,900円で、県平均と比べて葉山町は高く、口腔ケアを一層推進していくことが課題である。	
【医療費】 ・加齢に伴い医療費がかかる傾向があり、男女別では男性の医療費が高い。 ・構成比では、外来医療費の割合が高く増加傾向で、入院医療費は大きな増減はなく割合も低い。	・メタボリックシンドロームの人を減らすため、健康づくりの全般の推進が必要である。 ・運動をすることで生活習慣病予防が期待できることから、運動習慣の強化に取り組むことが必要である。 ・前期高齢者から後期高齢者へ、つながりを持った地域包括ケア推進と連動した取り組みが必要である。
【メタボリックシンドローム該当者の状況】 メタボリックシンドロームに該当する人の割合は微増しており、男女別では男性の該当者割合が高く課題である。	
【要介護認定状況】 要介護(支援)認定者数及び認定率は増加傾向で、主に第1号(65歳以上)の増加が見られるため、介護予防が課題である。	
【重複投与者・多剤投薬者の状況】 同一月内において3か所以上の医療機関から同一薬効1剤以上処方を受けている「重複投与者」や、同一月内に処方されている薬剤が合計で15剤以上(1日以上)の「多剤投与者」が一定数存在し、適正受診・適正服薬が課題である。	重複多剤投与者等の改善も含め、適正受診・適正服薬への取り組みが必要である。

1. 特定健診受診率向上事業	評価指標
特定健康診査受診勧奨事業	特定健診受診率で評価
特定健診未受診者受診勧奨事業	
若い世代の健診受診率向上事業	

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
目標値 特定健診受診率(%)	31.5%	32.0%	32.5%	33.0%	33.5%	34.0%

2. 特定保健指導利用率向上事業	評価指標
特定保健指導利用勧奨事業	特定保健指導終了率で評価
特定保健指導未利用者利用勧奨事業	
利用しやすい環境づくり事業	

	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
目標値 特定保健指導終了率(%)	23.0%	24.0%	25.0%	26.0%	27.0%	28.0%

3. 生活習慣病重症化予防事業	評価指標
受療勧奨事業(高血圧・糖尿病)	一人当たり年間医療費(外来・入院)が増大しないこと
重症化予防事業(高血圧・糖尿病)	
口腔ケア推進事業	

4. 運動習慣促進事業	評価指標
健康増進施設利用助成事業	運動習慣を持つ人の増加 ①特定健診問診票にて「1回30分以上の運動習慣あり」と回答する人の割合の増加 ②ウォーキング等の運動を週に1回以上している人の割合の増加
ウォーキング習慣促進事業	
地域包括ケア連携推進事業	

5. 医療費適正化推進事業	評価指標
重複投与適正化事業	一人当たり年間医療費(外来・入院)が増大しないこと
多剤投与適正化事業	
後発医薬品推進事業	



大きく5つの保健事業があるよ

15の事業で進めるのね





葉山町国民健康保険
第3期データヘルス計画
第4期特定健康診査等実施計画(令和6～11年度)

令和6年3月策定

発行者 葉山町福祉部町民健康課
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内2135
電話 046-876-1111